

進路通信

廿日市中学校
第4号
07月06日(月)
発行責任者 吉本邦治

テスト勉強効率アップ術

◎暗記する部分を明確にしよう

テスト勉強においては、理解する部分と暗記する部分が必ず出てきます。これは各教科に共通して言えることです。その中でもまずは暗記しなければいけない部分を明確にする必要があります。数学であれば公式を、英語であれば単語を、国語であれば漢字を暗記しなければならないため、そのときのテスト範囲において暗記しなければいけないことを早いうちに洗い出しておきましょう。暗記は、単語帳などを使うとよいでしょう。

◎英語は「音読」して身につけよう

英語の勉強では、教科書に出てくる文章を「音読」することが大切です。これは特に「前置詞」の記憶に役立ちます。「in / on / at」のように暗記しただけでは混同しやすい前置詞も、文章を読む過程で「音」で覚えてしまうと、意外とすんなり出てくるものです。前置詞の穴埋め問題が出た場合は、思いつく前置詞を当てはめて頭の中で音読してみる。間違った前置詞であれば違和感を感じるはずです。

◎問題をたくさん解こう

ある程度暗記や理解ができたなら、問題集に取りかかることをオススメします。問題を解くことは、今自分がどれくらい暗記ができていて、どれくらい理解ができているのかを測る上でとても大切です。たくさん問題を解いていく中で、例えば数学であれば公式を覚えきれていないのか、それとも公式を理解できていないのか、それとも公式の使い方が間違っているのかがわかるようになります。わからない部分が明確になれば、より重点的にその部分を勉強し直せばよいのです。問題集は（提出のために）ただ解けばよいというものではなく、解くことで自分の弱点を知り、その部分の勉強を重点的に行い、改めて問題を解き直す。それを繰り返すことが大切なのです。

◎自分で問題集をつくってみる

テスト前になると「ノートをまとめる」人も多いかと思いますが。ただノートをまとめるだけでは、意外と頭に入っていないのではないのでしょうか？ そこでオススメなのが、ノートをまとめるのではなく、ノートを元に自分で問題をつくってみることです。問題をつくる側の立場で考えると、どこが重要なのか、どのような問題として出てきそうなのか、というのが理解しやすくなります。いわゆる「ひっかけ問題」なども自分で考えてみることで、出題者の意図を理解しやすくなり、ただ「ノートをまとめる」だけよりもはるかに多くの情報を身につけることができるでしょう。

ここで紹介してきた方法には、それぞれ適したタイミングがあります。例えば、暗記の部分を明確にすることや問題集をつくることなどは、当然ですがテスト前日にやって間に合うようなことではありません。まずは、テストに向けてやらなければならないことを明確にし、その上で何をどういう順序でやっていくのかという見通しを持つことが大切です。そのために必要なのが、「計画表」ですね。それでは、健闘を祈ります！